

小渋ダムによる効果

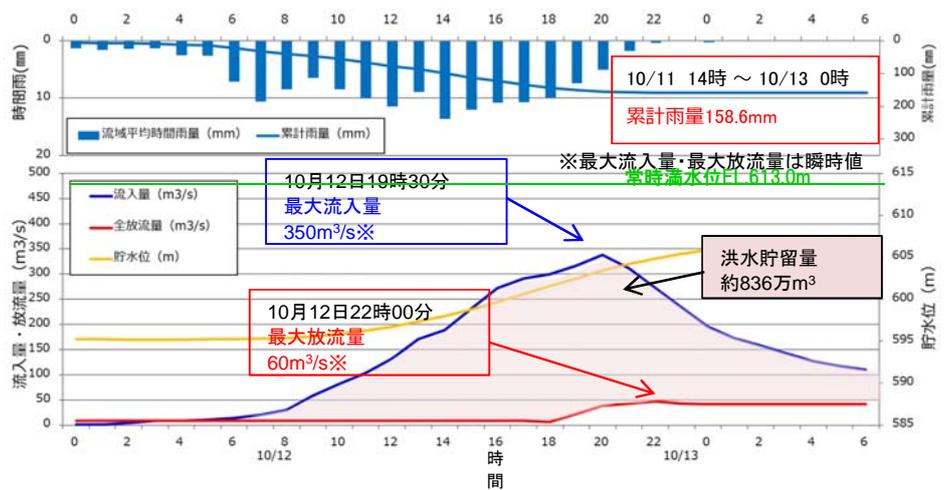
【数字はすべて速報値】

- 非常に強い台風第19号の影響により、10月11日の降り始めからの降水量は、小渋ダム流域平均で158.6mmを記録しました。
- 小渋ダム管理開始以降（50年間）で13番目の流入量350m³/sを記録しました。
- 小渋ダムでの防災操作の実施により、最大約836万m³の水を貯留し、ダムがない場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬（みやがせ）地点の水位は、約40cm低下したものと推定されます。

位置図



小渋ダムの防災操作の状況



小渋ダム放流状況（10月12日21:00）



小渋ダム流木補足状況写真

ダム下流における水位低減効果

